

令和 6 年度 第 1 回 大分市自転車利用推進懇話会 議事要旨

1. 日 時 令和 6 年 6 月 27 日（木）13 時 30 分～14 時 40 分
2. 場 所 大分市荷揚複合公共施設（大分市役所別館）6 階 大会議室
3. 出席者 別紙参照
4. 議 事
 - （１） 令和 5 年度事業報告
 - （２） 令和 5 年度実績報告
 - （３） 令和 6 年度事業計画
 - （４） 「大分市自転車活用推進計画」改訂について
5. 議事要旨

議事（１）令和 5 年度事業報告について

番号	発言要旨	回答要旨
1	【委員】 『サイクリングルートを「Google マイマップ」にて公開』は市のホームページなど、色々なところでの紐づけはされているか。	【都市交通対策課】 市ホームページの「おおいた自転車マップ」のページのみでの公開となっている。

番号	発言要旨	回答要旨
2	【委員】 サイクルツーリズムについて、ツーリストには行政区域の境は関係無いので、市内だけで検討するのではなく、市域を超えた取組をしてほしい。特に、大分市には、県の中心としての立ち位置で取り組んでほしい。 また、しまなみ海道はサイクルツーリズムが盛んで、各所にサイクルラックが設置されている。市にもサイクルラックの設置や設置費用の補助等を検討してほしい。	【観光課】 今年度は、令和4年度に調査した『市内周遊サイクリングコース造成及び環境調査』に基づきマップの作成に取り組む。 次年度以降は、宿泊施設等を対象に、サイクリストの受入環境調査に取り組みたいと考えており、サイクルラックの設置を含め、受入側の意向等を把握したうえで、必要な取組を検討していきたい。

意見・要望について

番号	委員発言要旨
1	自転車誘導サインの整備によって、左側通行のルールが浸透したこともあり、逆走が減少したと思う。マナーアップ事業も幅広い世代に対して取り組んでおり、良い。
2	街中は子乗せ自転車の利用も多いため、子乗せ自転車に関する講習会の新規実施はありがたい。講習会を通して、安全意識の向上だけでなく、利用者同士の意見交換もできるので、引き続き取り組んでほしい。

議事（2）令和5年度実績報告について

番号	発言要旨	回答要旨
1	【委員】 自転車イベントの誘客数が44,477人で十分に評価できる値だが、目標値が73,000人で、かなり高いように思う。どのように目標値を決めたのか。	【事務局】 計画策定前であるH30のサイクルフェスの実績値(67,883人)を基に決めた。コロナ禍の影響等により、数値が伸び悩んでいるのが現状であり、YouTube配信によって、会場に行かなくても観戦が可能になったことも一因だと考える。 【スポーツ振興課】 目標値に近づけるよう取り組んでいきたい。

議事（3）令和6年度事業計画について

番号	発言要旨	回答要旨
1	【委員】 サイクルツーリズムについて、マップを作成する際は、サイクリストの視点も踏まえながら長距離ルート等も検討してほしい。	【観光課】 マップの作成にあたっては、ライトなサイクリストをターゲットに調査したものが基になっている。いただいたご意見を参考にしながら作成していきたい。
2	【委員】 自転車は危険が伴う乗り物であるため、イベント等を開催する際は、事故や怪我等の恐れがないか十分に考慮してほしい。 【委員】 サイクリングルートを設定する際は、本当にそのルートが安全か、きちんと確認してほしい。	【観光課】 ルートの調査は、プロのサイクリストが試走しており、所管の各警察署とも連携して、危険箇所等を確認している。安全面に配慮して作成していきたい。

番号	発言要旨	回答要旨
3	【委員】 自転車に乗る目的は個人によって様々であるため、目的別にルートを定めると良い。	【観光課】 いただいたご意見を参考にルートを検討していきたい。

議事（4）「大分市自転車活用推進計画」改訂について

番号	発言要旨	回答要旨
	—	—

その他

番号	発言要旨	回答要旨
1	【委員】 高校生が、学校から離れた場所でヘルメットを着用していない様子が以前よりも見受けられるが、高校生に対してどのように指導しているのか。	【事務局】 （大分県教育庁学校安全・安心支援課より） 各学校における登校指導や交通安全教室で、生徒に対し、ヘルメット着用の指導をしている。 また、学校安全・安心支援課では、駅周辺や自転車通学生がよく通行する場所等で下校時間帯のヘルメット着用状況を調査し、各学校に対して指導をしている。
2	【委員】 大分県のヘルメット着用率が46.3%で全国第2位という報道があったが、どのように調査を行ったのか。	【事務局】 県警本部に確認し、調査期間・調査場所・調査時間について報告した。